

幕張車両センターで 労災死亡事故が発生 全責任はJR・CTSにある

◇外注化の無責任体制の中で 現場の仲間が犠牲にされた！

- ①JR東日本
↓ 丸投げ外注化
- ②CTS
↓ さらに丸投げ外注化
- ③秩父商会
↓ さらに丸投げ外注化！
- ④コンディショングリーン
→ 労災死亡事故が発生！

さらに…
亡くなった労働者はスキマバイト
「タイミー」を通じて雇用され、
今回の作業は初めてだった！

幕張車両センターで6月21日、外板清掃作業中に労働者が倒れて意識不明となり、救急搬送の後に24日朝に亡くなりました。無責任に仕事を丸投げ外注化した結果、取り返しのつかない事態がひきおこされました。絶対に許すことはできません！

またも仲間が犠牲にされた

今回の労災死の責任は100%JR東日本とCTSにあります。JRはグループ会社に徹底したコスト削減を強要し、CTSは要員削減で現場に矛盾を押し付けてきました。幕張での清掃労働者は10年前の3分の2にまで減らされています。低賃金でまともに要員も確保できない状況を作っただけで、今度は「自社で要員が確保できないから」と仕事を2度も3度も

丸投げしたのです。そして、犠牲にされたのはスキマバイトで来た労働者でした。誰も責任をとらない外注化体制による死亡事故です。

幕張車両センターでは17年8月にもCTSの仲間が快速車両の整備作業中に倒れ、亡くなっています。救命措置に駆けつけた仲間をはじめ、誰もが無念の思いと怒りをかかえ、いつ誰が倒れてもおかしくない酷暑の中で働いています。

必要なことは何よりも要員増です。それ抜きに「熱中症対策」など空論です。しかし、JRはグループ会社にさらなるコスト削減を強制し続けています。

闘って職場の安全を守ろう

「安全が確保されない限り仕事は始めない」「いざとなれば仕事を止める」——そういう闘いが必要です。

信じられない鉄道事故の頻発と、グループ会社における数々の労災死——それを目の前にしながら、「新たな価値創造」「限界をこえろ」とくり返し、人の命と引き換えに黒字を積み上げるJR東を絶対に許すことはできません。

自ら声を上げ、団結した力で会社に強制する以外に職場の安全は守れません。動労千葉とともに声をあげよう。